

令和4年度 学校自己評価システムシート (埼玉県立草加西高等学校)

目指す学校像	人に優しく、自分に厳しく、社会に貢献できる人間を育てる学校 ～自らの力で夢を実現できる力を養う～
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする

達成度	A	ほぼ達成	(8割以上)
	B	概ね達成	(6割以上)
	C	変化の兆し	(4割以上)
	D	不十分	(4割未満)

重点目標	<p>1 主体的に学ぶ意欲と探究心を育む授業の充実</p> <p>2 社会に通ずる規範意識の育成と、学校行事や生徒会活動・部活動の充実</p> <p>3 個々の希望を叶え、生徒の人生を豊かにするきめ細かなキャリア教育の実現</p> <p>4 地域連携の強化と積極的な情報発信による開かれた学校づくりの推進</p>
------	--

出席者	学校関係者	4名
	生徒	5名
	事務局(教職員)	8名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価年度			年度評価(2月1日現在)		学校関係者評価		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習の習慣が定着していない。 ICTを活用した授業が十分に実践できていない。 図書館利用が増えている。 3年間を見通した検定試験の計画を立てられていない。 保護者の授業に対する関心が高まっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンランクアップを目指した学力を定着させるために、家庭学習の時間を増やし、自学を定着させること。 ICTの活用状況が十分でない。 ICTを活用した授業について教員のスキルアップが必要。 主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業内容を共有し、教員相互間で学び合いを行う。 生徒の学ぶ意欲と探究心を刺激し、主体的に学習に取り組む姿勢を育成すること。 図書館利用を引き続き増やし、読書を習慣化する。 3年間を見通して、計画的に資格取得ができるよう、学校全体で情報を共有して組織的に取り組むこと 	自らの探究心を育て、自己の成長のために目標を掲げ、意欲的に自学できる生徒を育成する	<p>①eポートフォリオ等を活用し、計画的に家庭学習に取り組めるように支援するとともに教科を超えた横断的な連携を強化し、家庭学習の時間を増加する。(通年)</p> <p>②授業公開月間を設定するとともに、ICTを活用した授業を年1回以上校内公開し、教職員の学び合いを進めるとともに、スキルアップのための研修会を年2回以上行う。</p> <p>③主体的・対話的で深い学びを取り入れるとともに生徒の探究心を育てる。(通年)</p> <p>④図書館利用を積極的に授業で取り入れ、利用を推進しながら生徒の読書習慣を支援する。(通年)</p> <p>⑤資格試験の情報をまとめ、生徒に周知するとともに3年間を見通した計画を生徒に考えさせる(通年)</p> <p>⑥検定試験の学習の支援を組織的に行い、合格に向けた補習等を充実し、資格取得を推進する。(通年)</p>	<p>①定期考査前の家庭学習の時間が増加するように全職員で指導する。</p> <p>①eポートフォリオ、キャリアパスポートを活用し家庭学習の定着を図り、学校教育アンケートで検証する。(昨年度比)</p> <p>②ICTを活用した授業を校内公開し、教員間の学び合いを強化する。</p> <p>②ICTを活用した授業実施に向けた教員研修会を実施する。</p> <p>②各教科で連携を図り、図書館を活用する授業を行う。</p> <p>③資格取得を計画的に進めるため、西高プレクスルーに検定試験の情報を掲載し、3年間見通した資格試験の取得に向けて生徒を支援する。</p> <p>③資格試験の受験者数及び合格者数を増加させる。特に、2級合格者を増やす。(昨年度比)</p>	<p>①各教科の授業の中で小テストや確認テスト等を実施し、それに向けての家庭学習を指示して学習時間の増加を図った。授業改善アンケートの結果では、1日頃から家庭学習をしている、宿題が出るなど家庭学習をする、考査前になると家庭学習をするの割合が71.8%であり、昨年より4.4%増加している。</p> <p>①授業改善アンケート結果をそれぞれの授業でフィードバックし授業改善に役立てた。</p> <p>②10月24日～11月25日を授業研究月間とし、授業公開による教員相互の学び合いを実施した。</p> <p>②ICT教育推進課と連携し授業でのタブレット端末活用の研修会を実施した。</p> <p>②図書館ガイドラインの実施や授業・行事等での活用等とともに、図書館だよりの発行や特集コーナーの設置、生徒発信のおすすめ本の紹介やマスコットキャラクターの設定などにより、利用者数・貸出数が増加した。</p> <p>③1年生で漢字検定、2年生で家庭科食物調理技術検定を全員受験。事前に漢字検定模擬テストを実施の上、結果を可視化し自己の現在地を確認させた。</p> <p>③2級以上合格者、英語検定:9名、漢字検定:9名、家庭科食物調理技術検定:5名、家庭科被服製作検定(洋服):8名、家庭科被服製作技術検定(和服):4名(3月24日現在)</p>	<p>○新学習指導要領に対応した授業への改善に努める。</p> <p>○引き続き生徒に家庭学習の習慣化を働きかけ、学習時間の増加による学力向上を図る。</p> <p>○教員のICT活用スキルの更なる向上を図るとともに、生徒用タブレット端末の有効活用の研究を進める。</p> <p>○withコロナの状況下でのアクティブラーニングについての工夫を進め、進路実現に向けた「学びの主体性」の育成を継続する。</p> <p>○資格取得・外部模試等をきっかけとして生徒の進路意識の向上を図る。</p>	<p>○出席者 学校関係者 4名</p> <p>○生徒 5名</p> <p>○事務局(教職員) 8名</p> <p>○実施日 令和 5年 2月 8日</p> <p>○学校関係者からの意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の授業から定期テストを意識し、毎時間丁寧に取り組むことができる。 ・漢字検定や小テスト、提出物等に向けて余裕をもって勉強すること、休み時間など空いた時間にこつこつと勉強することを頑張っている。 ・生徒の探究心を向上させるための指導の工夫がなされており、家庭学習の定着が進んでいると感じる。 ・小さな目標に対して努力するプロセスを大切にしている。 ・アクティブラーニングやICTを活用し、インタラクティブな学びが行われている。
2	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> きめ細かな生活指導は実践できている。 規範意識を持って意欲的に学校生活を送る生徒が増えてきている。 人間関係の悩みを抱えている生徒が複数おり、心の支援を必要としている生徒がいる。 近隣住民から自転車マナーに対する意見が多く、登下校中の接触事故がある。 生徒会が中心となって学校行事を運営している。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員と生徒との信頼関係を強化し、一人一人が規律ある態度を実践し、将来へ向けた自主自立と必要な規範意識をより一層向上させること。 引き続き、全職員の共通理解を得ながら、生徒の安心、安全を確保し、充実した学校生活ができるようにすること。 自己肯定感がある生徒を育てるため、活躍できる場を多く設定すること。 部活動の予算編成を適正に行い、活性化につなげること。 生徒が様々なところで自らの意思で決断し、行動できるようにすること。 心の支援を必要としている生徒に対して組織的に行うために連携体制を強化すること。 登下校時の安全を確保すること。 SNSの望ましい扱い方について十分理解できていない。 	自らの意志で行動を律する力を持ち、規範意識の向上に努める生徒を育成する	<p>①教職員間、保護者との連携を密にし、遅刻指導や身だしなみ指導等を実践することで基本的生活習慣が生徒自らの力で身に付くように指導する。(通年)</p> <p>②スクールカウンセラーによる教育相談を実施する。(年12回)</p> <p>③校内教育相談体制を充実し、草加分校と連携した体制を実現する。(通年)</p> <p>④二者面談の実施。(年2回以上)</p> <p>③生徒の規範意識を醸成し、交通ルールやマナーを守るとともに、時間に余裕を持った通学に向け5分前登校を推進し交通事故ゼロを目指す。(通年)</p> <p>③SNSの望ましい扱い方について学び、生徒がトラブルに巻き込まれないようにする。(通年)</p>	<p>①欠席率、遅刻率の減少を目指す。(昨年度比)</p> <p>①皆勤者の増加を目指す。(昨年度比)</p> <p>②生徒が充実した学校生活を送れるようにスクールカウンセラーと連携を深めながら支援する。</p> <p>②個に応じて、東部教育事務所と連携する。</p> <p>②草加分校と協力的な教育相談対応やケース会議等を実施し、情報共有の機会を設定する。</p> <p>②生徒との二者面談を4月、9月に実施する。</p> <p>③交通ルールを守り、登下校時の交通事故を無くす。(昨年度比)</p> <p>③SNSについて講演会等を通じて学び、望ましい扱い方を身につける。必要に応じて生徒会主体で呼びかけを行う。</p> <p>③授業におけるICT・BYODの活用も踏まえた、タブレット等の利用のルール整備を進める。</p>	<p>①欠席率:2.3%、遅刻率:0.8%(3月24日現在)</p> <p>①皆勤者:230名(3月24日現在)</p> <p>②スクールカウンセラー来校回数:10回、カウンセリング回数:のべ48回(3月24日現在)</p> <p>②二者面談については、全体として取り組んだ他にも必要に応じて個々に実施し、生徒の学校生活を支援した。</p> <p>③県の交通安全教室に参加した生徒による伝達講習をはじめ、折に触れて自転車のマナーや交通安全について呼びかけを行い、交通マナーの向上と事故防止に努めた。登下校中の事故:20件(3月24日現在)</p> <p>③全校生徒を対象に、外部講師を招いてのネットラブルについての講演会を実施し、SNS等の安全な利用について学習した。</p>	<p>○次年度も継続してきめ細かな生徒指導を行う。</p> <p>○生徒指導の方針を全職員で共有しながら実践していく。</p> <p>○全職員で生徒の学校生活を支援していくとともに、心のケアを必要としている生徒に対する教育相談体制をより充実していく。</p> <p>○分校との連携を強化し、インクルーシブ教育を推進する。</p> <p>○交通安全を励行し、自転車マナーアップを意識させる。</p>	<p>・みんなが挨拶できていると思う。誰にも挨拶している人が増えてきたと思う。</p> <p>・ほとんどの生徒は授業中集中し、提出物の期限も守っているのに、一部の生徒ができていない。</p> <p>・生徒会からいくつか学校に対する要望を出しているが、生徒側の取り組みができていないと学校への要望が通らないと思うので、生徒が学校のこのことについて深く考える機会を作り、改善していけたらと思う。</p> <p>・校則を生徒手帳等に細かく書いてほしい。</p> <p>・社会的に自立する力の育成のためのサポート体制が充実している。</p> <p>・校則等の決まりやルールについては、その理由をしらみと説明することが重要である。生徒の意見表明権を認め、やりとりの中で指導の充実を図ることが大事である。</p> <p>・自転車通学時のヘルメット着用については推移を見守る。</p>
3	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科や各分掌との連携により、生徒の進路実現の達成率は90%を超えている。 大学等への進学者が増加傾向にあり、大学進学への指導について保護者からの要望がある。 公務員試験に一次合格する生徒が増えてきている。 保護者に必要な情報は発信できている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ワンランクアップの進路を目指してチャレンジする意欲を向上させること。 進路指導の方向性について共通理解で取り組むこと。 生徒が大学受験に臨むために必要な組織的な支援体制について検討すること。 ルーブリックを使用した観点別評価について研究を推進、実践すること。 生徒の多様な進路希望への対応を今まで以上に組織的に行うこと。 公務員を目指す生徒への支援を早期から計画的、組織的に進め、二次試験合格者を増やすこと。 保護者へ進路に関する情報発信を行うこと。 	希望する進路に向けた意識を高め、ワンランクアップの進路実現を目指して積極的に進路実現に向けて、早い段階からチャレンジする意欲を持つ生徒を育成する。	<p>①3年間を見通した進路指導計画について確認し、指導の方向性について全職員で共通理解を持つ。(通年)</p> <p>①ワンランクアップの進路実現に向けて、早い段階からチャレンジする意欲を持たせる。(通年)</p> <p>②大学受験の支援を行うための組織について、草西ビジョン検討チームを中心に検討する。(通年)</p> <p>②進学希望者向けの補習や補講を実施するとともに、外部の学習コンテンツの活用を推進する。(通年)</p> <p>②教員向けの進路指導研修(進学)を実施する。(年2回)</p> <p>③長期休業中や放課後を活用して、公務員希望者対象の講座、就職者対象の補習等を計画的に実施する。(通年)</p> <p>④学校ホームページを活用して進路に関する情報を的確に提供し、質の高い進路指導を継続する。(通年)</p>	<p>①進路指導主事による進路講話や進路指導研修等を実施する。</p> <p>①生徒が希望する進路の決定(100%)を目指し、職員が一丸となって生徒自身の力で活動につなげる支援を努める。</p> <p>②実施している補習や補講を見える化し、組織的な支援体制について検討する。</p> <p>②大学等が実施する進路説明会へ教員を派遣し、常に新しい情報を把握、共有して生徒面談等で還元する。</p> <p>②外部の学習コンテンツのアクセス状況</p> <p>③公務員希望者対象の講座を計画的に実施し、早期の段階からチャレンジするよう支援する。(通年)</p> <p>④ホームページ等で進路行事や進路情報を定期的に更新し、保護者へ提供をする。</p> <p>④各学年から進路だよりを年6回以上発行する。</p>	<p>①入学当初の1年生対象を始め、学年集会や総合的な探究の時間等で計画通り進路講演を実施できた。</p> <p>①3年生の進路内定率は97.3%。(3/15現在)</p> <p>①生徒が第一志望にこだわりを持つようになり、昨年よりも上位の大学への総合型・公募型での受験数と合格数が増えた。看護系の合格率も目覚ましく公立看護専門への合格数は過去最高となった。</p> <p>②分野別の進路説明会・職業別体験授業・職業人インタビュー等を行った。</p> <p>②夏季および冬季休業中を中心に各教科で進学補習を実施し、のべ100名以上が受講した。</p> <p>②来校型オンライン型共に積極的に参加し、情報を把握できた。また上級学校や企業との連携も密になり、新たな指定校や優良企業を得ることができたが、内容を全体で共有するための教員研修会はできなかった。</p> <p>②スタディサブリでの課題配信や一般常識テスト等を実施した。</p> <p>②求人票検索システムHANDYを導入することにより、働き方改革とともに生徒の主体的な就職活動を促し、1次内定率は90%を超えた。</p> <p>③外部講師を招いての公務員講座を定期的に実施した。年明けからは対象を2年生に移し早期の意識付けにつなげた。</p> <p>④Googleclassroomで進路情報等を配信した。</p> <p>④進路だよりを各学年学期末に発行した。</p>	<p>○次年度以降も集会、総合的な探究の時間等を活用して進路講演等を継続的に実施する。</p> <p>○新教育課程における受験に関する情報収集に努め、変更事項等も含め新しい情報の提供に努める。</p> <p>○希望する上級学校への総合型・公募型入試(選抜)や一般入試(選抜)に対応する支援を行う。</p> <p>○教員向け進路研修会を実施する。</p> <p>○スタサプ、HANDY、手帳を総合的に指導し生徒が主体的に取り組めるよう工夫する。</p> <p>○大学等の説明会(オンライン含む)、上級学校および企業訪問に積極的に取り組む。</p> <p>○保護者向けにホームページ等を利用した進路情報の提供を進める。</p>	<p>・受験と授業の両立は大変だったが充実していた。</p> <p>・先生方の熱心な指導と生徒一人一人に向き合い最後まで支えてくれたおかげで針路実現ができた。</p> <p>・進路多様校として様々な手立てを講じることにより進路実現を支えている様子が見られる。</p> <p>・自己管理手帳の導入により生徒がメモを取る習慣が当たり、自己管理が進んだという実践がとても良い。結果として進路実現にも好影響があったという点も併せて、さらに効果的な活用を進めてほしい。</p> <p>・何をしたいかを大切にすること、進路指導により「求人票の電子化により家庭との情報共有が容易になることは大変素晴らしい。</p> <p>・何をしたいかを大切にすること、進路指導により、進路面での質的向上が見られた点について、一層の充実を望む。</p>
4	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的な情報発信と施設開放、地域ボランティア等を行っている。 近隣中学校と良好な関係を築いている。 近隣大学との連携がコロナ禍で中断している。 学校行事や授業公開への保護者の参加がコロナ禍で中断している。 草加かがやき特別支援学校草加分校との交流は良好である。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の小・中学校との交流を継続して実施するとともに定着化させること。 PTA活動への保護者理解と参加者を拡大すること。 地域住民の方々が来校する機会が限られている。 獨協大学との取組を検証し、進展させること。 分校との相互理解を推進するため学校行事を中心とした交流を行うこと。 職員の交流(合同研修会)に取り組むこと。 	様々な人との交流を通して人権感覚を育成し、コミュニケーションを図りながら地域活動等に参加できる活動的な生徒を育成する。	<p>①生徒自身が地域で活躍することを通して、地域住民や小・中学校等に本校の良さ発信し、地域に根差した信頼されるの高校として魅力を発信し、学校説明会に参加する人数を増やす。(通年)</p> <p>①ホームページを効果的に活用し、生徒の活動を積極的に掲載する。(通年)</p> <p>①獨協大学との取組を年1回行い、検証する。</p> <p>②PTA・後援会理事会を中心として、保護者間の連絡や連携を強化するとともに、各種行事等に職員と一緒に参加する。</p> <p>③草加分校と連携し、日々の連絡を共有する体制を構築する。また、各種行事を生徒だけでなく保護者、職員と一緒に「一体感」を味わう。(通年)</p> <p>③草加分校の職員と合同研修を行い、職員間の交流を推進する。(通年)</p>	<p>①学校説明会への参加者720組(定員240名×3)を目指す。(昨年度比64組)</p> <p>①ホームページのトップページを積極的に更新する。(昨年度比)</p> <p>①ホームページの部活動のページを全職員で積極的に更新する(通年)</p> <p>①ホームページに学校オリジナルパノラマを導入し、学校施設を公開する。</p> <p>①獨協大学との取組を年1回行い、交流を深める。</p> <p>②地域ボランティア活動への参加部活と生徒数を増加させる。</p> <p>②保護者の授業公開やPTA活動、各種行事等への参加数を増加させ、学校への関心を高める。</p> <p>③合同での行事を実施する。</p> <p>③日常での相互交流を図る。</p> <p>③合同研修会(年1回以上)を実施し、職員間の交流を図る。(通年)</p>	<p>①学校説明会への参加者570組、コロナ禍により夏季休業中の部活動体験・見学会が実施できなかったため、目標達成はならなかったが、4回実施した学校説明会の参加者数だけで単純比較すると、昨年は比+25組であった。</p> <p>①ホームページの更新数197件に加え、部活動紹介動画の作成19部や学校オリジナルパノラマの掲載等により、アクセス数36万5千回と昨年比1.5倍以上であった。(3月24日現在)</p> <p>①獨協大学との連携による講座を3月22日に実施。(3月24日現在)</p> <p>②年2回予定された地域清掃活動について、12月、3月とも天候不順により中止(3月24日現在)</p> <p>②新田西文化センターでの「ふれあいコンサート」参加、FM越谷主催の朗読会公開収録参加、越谷レイクタウンでの「ハロー！ハッピーフェスティバル」参加、草加マルイXmasイベント参加等、部活動で地域のイベントに積極的に参加し、地域の方々との交流を進めた。</p> <p>②文化祭の一般公開、ロードレース大会の補助は実施できたが、PTA活動としてはまだ制限が多く、十分な連携強化は難しかった。</p> <p>③コロナ禍ではあったが、体育祭・文化祭の合同開催、緑化事業、授業体験等は実施することができた。</p> <p>③合同職員研修会を実施し、グループ協議により交流を図ることができた。</p>	<p>○ホームページの活用を始め、あらゆる方法を検討しながら、草加西高校の魅力の発信を行う。</p> <p>○地域に根差した学校として、地元小中学校との連携を深め、地域貢献を図る。</p> <p>○草加市役所や草加アコス等、地域との関係を大切にし、更なる発展を模索する。</p> <p>○withコロナの状況下でのPTA活動の在り方を模索し、生徒のために学校と家庭が共に歩む道を開く。</p> <p>○高校内分科設置校の先駆けとして、分校とのより積極的な交流を推進し、インクルーシブ教育の発展を図る。</p>	<p>・文化祭が一般公開できてよかった。</p> <p>・地域から良い学校と言われていることはとても重要である。周りから賞られているという意識が大事。</p> <p>・コロナ禍にもかかわらず、人との触れ合いを大切に「一歩一歩進んでいる」様子が見られる。ボランティア活動等も併せて、更に地域とのかわり方を深めてほしい。</p> <p>・獨協大学との連携が再開し、生徒が大学での講義を聴講する機会ができたことは、キャリア教育の視点からも素晴らしい。</p>